

本時のねらい

・鎌倉時代から室町時代までの時代の流れに沿い、因果関係を明らかにしながらわかりやすく相手に説明できる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ペアで2つの時代を役割分担することによって、一人ひとりの役割を明確にする。
- ・発表ノートを活用しながら、その時代に登場した人物の経歴をまとめ、その時に起こった事象について因果関係を視覚的に整理する。
- ・まとめた内容を他者に伝える活動へと展開することで、自分の考えを「わかりやすく」相手に伝える力を養う。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・発表ノート[SKYMENU Cloud] (まとめた資料の提示・共有) ・Microsoft Word (レポート)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	1. 本時の目標・流れを確認する。 本時の目標「鎌倉時代から室町時代のつながりを説明しよう。」 2. 発表の準備 ・前時に作成した資料を個人で確認する。【写真1】	・前時で時代の流れ・事象・登場人物の経歴について発表ノートのまとめている。(ペアで鎌倉時代と室町時代を分担)
展開 (30分)	3. ペアで発表【写真2】 ・「鎌倉時代」と「室町時代」に担当を分ける。 ・「鎌倉時代」の担当者から発表を行う。 ・おさえておきたいポイントをふまえながら説明する。 4. レポートの作成 ・お互いの発表内容を、Wordにまとめる。【写真3】	・発表ノートの共有機能でお互いの資料を共有できる。 ・紙面での交流と違い、相手のデータが自分の端末で見ることができるので、メモすることに気を取られることなく相手の話を集中して聞くことができる。 ・自分が重要だと思うポイントについては、色をつけるなど工夫して整理する。 ・本学習では「文章を作成する」力も育むため、因果関係を意識しながら、時代の流れを文章で表記する。
まとめ (10分)	5. 作成したレポートを互いに発表する ・班で発表を行う。 ・お互いに参考になる部分があれば文字の色を変えて自身のWordに追記する。	・自分の文章と他人の文章を、画面を見せ合うことによって比較し、必要があればよりよい表現へと文章の推敲を行う。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】前時に作成した交流用の資料



【写真2】ペアとの交流の場面



【写真3】ペアの話を受けてレポートを作成する場面

児童生徒の反応や変容

・一つの時代を調べてまとめるために、生徒は教科書や、インターネット上の資料を数多く読み込んでいた。また、その資料をペアの相手に伝えるようにするために、1000字近々の文章を作成し、修正するという作業を繰り返しており、普段以上に深く理解しようとする姿勢が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・本授業では双方向性を意識した「アウトプット」の機会を充実させることを意識した。ペアの相手を意識した発表用のスライドを完成させ、それを自分の言葉でわかりやすく相手に伝えることや、相手の発表を再度文章として言語化すること、さらには様々な角度からのアウトプットを通じて生徒の理解を深めることができたと感じている。
- ・正しい文章表記、表現を身につけるきっかけとしても、本授業は効果的であった。特に、Wordで文書を作成することに慣れていない生徒が多いので、国語科の授業だけでなく、教科横断的に文書を書くスキルを身につけさせることができる。